

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月7日	
八尾市長 殿	
提出者	
住所 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号	
氏名 株式会社イチケン 関西支店	
上席執行役員 関西支店 支店長 中村 晃	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 06-6253-6200	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	

事業場の名称	八尾市管轄内事業場
事業場の所在地	八尾市管轄区域内
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	売上高：2,510,519万円
③従業員数	167人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	1.40 t	1.10 t
	(これまでに実施した取組) 1. 現場に搬入する資機材の梱包を簡素化して、廃材の減量を図る。 2. 木材等はプレカット材を搬入して、現場発生の廃材減を図る。 3. ダンボール、鉄くずは個別分類して、有価物として処理する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	1.26 t	0.99 t
	(今後実施する予定の取組) 1. 現状の対策を徹底して行う。 2. 分別収集を強化して、リサイクルに努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 石膏ボード、木材、廃プラスチック、コンクリート、アスファルト破片		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 現状取組の徹底を図る。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物 (管理型)
6.15 t	2,318.39 t	26.18 t	29.77 t

②計画

廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物 (管理型)
5.54 t	2,086.55 t	23.56 t	26.79 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	t
	（これまでに実施した取組） 1. 現場に搬入する資機材の梱包を簡素化して、廃材の減量を図る。 2. 木材等はプレカット材を搬入して、現場発生の廃材減を図る。 3. ダンボール、鉄くずは個別分類して、有価物として処理する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	t
	（今後実施する予定の取組） 1. 現状の対策を徹底して行う。 2. 分別収集を強化して、リサイクルに努める。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	t
（これまでに実施した取組） 1. 現場に搬入する資機材の梱包を簡素化して、廃材の減量を図る。 2. 木材等はプレカット材を搬入して、現場発生の廃材減を図る。 3. ダンボール、鉄くずは個別分類して、有価物として処理する。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	t
（今後実施する予定の取組） 1. 現状の対策を徹底して行う。 2. 分別収集を強化して、リサイクルに努める。			

(第4面-1)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組) 1. 現場に搬入する資機材の梱包を簡素化して、廃材の減量を図る。 2. 木材等はプレカット材を搬入して、現場発生の廃材減を図る。 3. ダンボール、鉄くずは個別分類して、有価物として処理する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 現状の対策を徹底して行う。 2. 分別収集を強化して、リサイクルに努める。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	1.40 t	1.10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.40 t	1.10 t
	再生利用業者への処理委託量	1.40 t	1.10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) 1. 現場に搬入する資機材の梱包を簡素化して、廃材の減量を図る。 2. 木材等はプレカット材を搬入して、現場発生の廃材減を図る。 3. ダンボール、鉄くずは個別分類して、有価物として処理する。		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物 (管理型)
6.15 t	2,318.39 t	26.18 t	29.77 t
6.15 t	336.66 t	0.00 t	29.77 t
6.15 t	2,318.39 t	26.18 t	24.83 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	4.94 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	1.26 t	0.99 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.26 t	0.99 t
	再生利用業者への処理委託量	1.26 t	0.99 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>1. 現状の対策を徹底して行う。</p> <p>2. 分別収集を強化して、リサイクルに努める。</p>			
※事務処理欄			

(第5面-2)

②計画

廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物 (管理型)
5.54 t	2,086.55 t	23.56 t	26.79 t
5.54 t	302.99 t	0.00 t	26.79 t
5.54 t	2,086.55 t	23.56 t	22.35 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	4.45 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

前 年 度 【令和5 年 度】 実 績

掲 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府中央区久太郎町4丁目1番3号	株式会社イテケン 関西支店	関西支店 購買部		06-6253-6200		

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況													②+⑧			③+⑩ 自ら埋立処分又は海 投処分を行った量⑩	
	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量③	④自ら中間処理した 量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した場 所埋立処分又は海 洋投入処分した量⑨	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑪=①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨ =⑫+⑬+⑭+⑮+⑯					⑭ 埋立処分委託量⑭		⑮ 海洋投入委託量⑮
コード	名 称									⑫ 再生利用者への 処理委託量⑫	⑬ 熱回収施設業者 への処理委託量⑬	⑭ 仕業回収業者以外 の熱回収業者への 処理委託量⑭	⑮ その他の中間処理 委託量⑮	⑯ 埋立処分委託量⑯	⑰ 焼却委託業者への 処理委託量⑰	⑱ 焼却委託業者以外 の焼却委託業者への 処理委託量⑱	⑲ 焼却委託業者への 処理委託量⑲	
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理後の量	④の量のうち熱回収を行った量	⑥の量のうち、自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑤の量を差し引いた量	⑧の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	⑩の量のうち、中間処理及び最終処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量⑪、⑫(除く)	⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑪の量のうち、委託して最終処分した量(⑮～⑲を除く)	⑪の量のうち、直接委託して埋立処分した量	⑪の量のうち、優良認定処理業者への処理委託量	⑫の量と⑬の量を合計したもの(自動計算)	⑬の量と⑭の量を合計したもの(自動計算)
1	600 廃プラスチック類	1.40								1.40	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.40	0.00	0.00
2	800 木くず	1.10								1.10	1.10	0.00	0.00	0.00	1.10	0.00	0.00	0.00
3	### 廃石膏ボード	6.15								6.15	6.15	0.00	0.00	0.00	6.15	0.00	0.00	0.00
4	### コンクリート片	2,318.39								2,318.39	2,318.39	0.00	0.00	0.00	336.66	0.00	0.00	0.00
5	### アス・コン片	26.18								26.18	26.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	### 建設混合廃棄物(管理型)	29.77								29.77	24.83	4.94	0.00	0.00	29.77	0.00	0.00	0.00
7													0.00				0.00	0.00
8													0.00				0.00	0.00
9													0.00				0.00	0.00
10													0.00				0.00	0.00
11													0.00				0.00	0.00
12													0.00				0.00	0.00
13													0.00				0.00	0.00
14													0.00				0.00	0.00
15													0.00				0.00	0.00
16													0.00				0.00	0.00
17													0.00				0.00	0.00
18													0.00				0.00	0.00
19													0.00				0.00	0.00
20													0.00				0.00	0.00
21													0.00				0.00	0.00
22													0.00				0.00	0.00
	合計	2,382.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,382.99	2,378.05	4.94	0.00	0.00	375.08	0.00	0.00	0.00

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

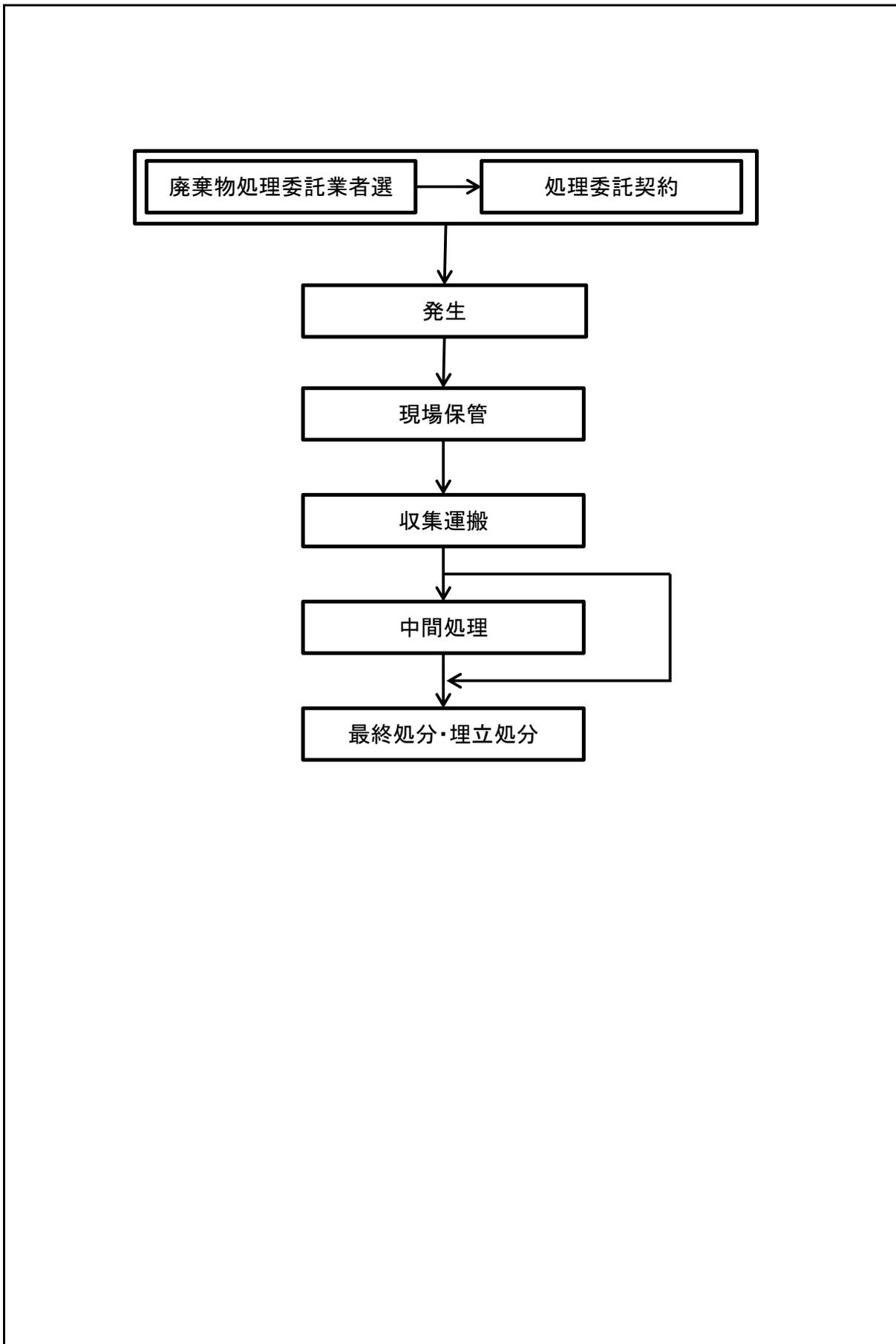
今年度【令和6年度】目標

押 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号	株式会社イテケン 関西支店	関西支店 購買部		06-6253-6200		

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況																	
	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接処理処分又は海洋投	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した自	委託先による区分						⑫⑩	⑬⑪	
										立処分又は海洋投	入処分した量(イ)	量(イ)	量(イ)	立処分又は海洋投入処分した量(イ)	理委託量(イ)			理委託量(イ)
コード	名 称	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず直接再生利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	④の量から⑤の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑪、⑬を除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、委託先として最終処分した量(⑭～⑯を除く)	⑮の量のうち、直接委託処理業者への委託処理量	⑯の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑫の量と⑬の量を合計したものの(自動計算)	⑬の量と⑭の量を合計したものの(自動計算)
1	600 廃プラスチック類	1.26								1.26	1.26	0.00	0.00	0.00	0.00	1.26	0.00	0.00
2	800 木くず	0.99								0.99	0.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.99	0.00	0.00
3	1322 廃石膏ボード	5.54								5.54	5.54	0.00	0.00	0.00	0.00	5.54	0.00	0.00
4	1501 コンクリート片	2,086.55								2,086.55	2,086.55	0.00	0.00	0.00	0.00	302.99	0.00	0.00
5	1502 アス・コン片	23.56								23.56	23.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	2020 建設混合廃棄物(管理型)	26.79								26.79	22.35	4.45	0.00	-0.01	0.00	26.79	0.00	0.00
7													0.00				0.00	0.00
8													0.00				0.00	0.00
9													0.00				0.00	0.00
10													0.00				0.00	0.00
11													0.00				0.00	0.00
12													0.00				0.00	0.00
13													0.00				0.00	0.00
14													0.00				0.00	0.00
15													0.00				0.00	0.00
16													0.00				0.00	0.00
17													0.00				0.00	0.00
18													0.00				0.00	0.00
19													0.00				0.00	0.00
20													0.00				0.00	0.00
21													0.00				0.00	0.00
22													0.00				0.00	0.00
	合計	2,144.69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,144.69	2,140.25	4.45	0.00	-0.01	0.00	337.57	0.00	0.00

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

別添 1 処理工程図



別添2 管理体制図

